

令和2(2020)年度入学試験問題出題のねらい (一般選抜(B方式))

中村学園大学〔流通科学部〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第4問 会話の流れを正確に把握する力、コミュニケーション英語力、英文中の情報を正確に読み取り判別する力を問う。

第5問 失敗から学ぶことについての英文を用いて、長文の読解力・内容把握力を問う。内容把握以外の瑣末な知識は問わない。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合(漢文を除く)の範囲である。

第1問 現代文・評論 佐藤健二『ケータイ化する日本語——モバイル時代の“感じる”“伝える”“考える”』からの出題。

漢字の書き取り・読みといった基本的な知識に加え、空欄補充、傍線部の理由説明、傍線部の内容説明、内容合致といった問題で文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『海人の菟藻』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法、敬語などの基本的な知識に加え、傍線部の解釈、登場人物の心情、和歌の解釈といった読解問題で、文章を丁寧に読み取る力を問う。

【数 学】

〈出題のねらい〉

3大問で構成されており、センター試験よりやや易しいレベルの問題である。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 データの分析、場合の数と確率、整数の性質、微分法・積分法の分野からの出題。(1)は平均値と分散の値を求める問題。(2)は余事象の確率と条件付き確率を求める問題。(3)は最小公倍数と最大公約数に関する問題。(4)は定積分と微分法に関する問題。

第2問 2次関数の分野からの出題。グラフの平行移動と x 軸との位置関係や最大値に関する問題。

第3問 図形と方程式の分野からの出題。円の中心と半径や、円と直線が2点で交わる条件を求めたり、円 C 上の点 P について考える問題。

【世界史】

〈出題のねらい〉

高校で学習した世界史Bの範囲から、時代・地域・分野ともに幅広く出題している。

第1問 現代史からの出題。20世紀に消滅した国家や連邦について、それぞれの歴史や消滅の経緯に関する歴史事象を問う。

第2問 アジア史からの出題。中国の各時代における文学作品などを題材に、中国諸王朝に関する歴史事象を問う。

第3問 ヨーロッパ史からの出題。各時代の皇帝・教皇の状況を通して、それぞれの時代や地域、国についての歴史事象を問う。

第4問 テーマ史の出題。イスラームの諸宗派を題材に、「東西交流」についても触れながら、イスラーム世界の歴史について問う。

【日本史】

〈出題のねらい〉

高校で学習した日本史Bの全範囲から出題している。分野は政治・社会経済・文化・外交から出題している。

第1問 古代～近現代の文学について、テーマ史の形式で幅広く問う。

第2問 古代の政争・戦乱について、史料を用いるなどして基本的事項を中心に問う。

第3問 中世の都市をテーマに、政治史を中心に、地図を用いるなどして幅広く出題する。

第4問 近世の対外関係について、初期の鎖国体制の形成期と後期の外圧の接近について、国内体制とも関連させて問う。

第5問 近現代の世論と政治について、明治初期の改革から占領期の改革まで幅広く出題する。